

「(次期)東京都スポーツ推進総合計画」 中間まとめに対して寄せられたご意見等について

意見の募集について

1. 募集期間 令和6年12月25日から令和7年1月24日まで
2. 内 容 「(次期)東京都スポーツ推進総合計画」中間まとめへの意見の募集
3. 意見数 43件（主な意見等については下記のとおり）

主なご意見（要旨）とそれに対する都の考え方

スポーツ実施状況について

- 「海外諸都市のスポーツ実施状況」の数値について、実施率として記載されている頻度を備考に記載するなど、記載内容等を検討した方がよい。

- ◆ 各国の実施率として記載している実施頻度を備考欄に記載するなど、記載を修正

マイナースポーツ等の普及について

- フラッグフットボールを社内で健康経営に活用したり、競技普及を行いたい。この活動を都と一緒にやり、地域のスポーツ推進にもつなげたい。
- インラインホッケーの施設を東京にも建設してほしい。

- ◆ 民間企業をはじめとする多様な主体の参画を促し、連携して取組を実施
- ◆ 自らに合ったスポーツを楽しめるよう、身近でできる場の確保等を推進

eスポーツ・デジタル技術の活用について

- eスポーツの更なる推進をお願いしたい。
- 行政としてeスポーツの取り扱いには慎重を期す必要があるのではないか。
- 区市町村に対するeスポーツイベント等への支援を継続してほしい。

- ◆ 障害者や高齢者の健康増進等に向け、eスポーツを活用
- ◆ 課題や効用等について調査するなど、eスポーツの活用の在り方について検証を実施
- ◆ 区市町村が実施するスポーツイベント等への支援を実施

主なご意見（要旨）とそれに対する都の考え方

子育て世代・働き盛り世代に向けた取組について

- 親子が一緒に参加可能な取組にニーズがあると思うので、仕事をしながらスポーツに親子で参加できる機会を作るべき。

◆引き続き、子育て世代や働き盛り世代を含め、都民がスポーツに取り組むきっかけを提供

トップアスリートについて

- トップレベルのアスリートに社会貢献の視点を持ってもらい、人々（特に子供）へのスポーツの普及に貢献してもらえるような施策を取り入れてほしい。

◆今後もアスリートが地域でのイベント等、様々な場面で活躍できる機会を創出

スポーツを通じた相互理解の促進について

- パラスポーツに関して、国際大会に出場できるアスリートや、応援したくなる選手を継続的に輩出できる仕組みづくりが重要。
- 障害当事者が、地域の施設やパラスポーツ指導員などを活用し、一人でも団体でもスポーツを楽しみ、利用しやすい環境にすることが必要。
- ユニバーサルコミュニケーション（UC）技術の浸透は、社会にとって有益であり、推進してほしい。区のイベントでの機器の展示などについても、支援してほしい。

◆様々な競技スポーツに出会える体験会や、東京ゆかりの選手についての情報発信を継続
◆特別支援学校での体験教室の実施や身近な施設の利用促進に向けた環境整備を支援
◆世界陸上・デフリンピックを契機にUC技術を普及促進。イベント等での機器体験や、区市町村による気運醸成の取組への支援を継続

地域・経済の活性化について

- 経済の活性化という視点で、スポーツのビジネス化のような視点や指標があっても良いのではないか。

◆地域・経済活性化の視点を政策の柱の一つとして設定し、施策を推進

スポーツ大会の開催について

- 世界陸上、デフリンピックでは、子供の観戦機会を確保するため、学校観戦における移動手段の支援や観戦情報の提供をしてほしい。
- ねんりんピックについて、大学・企業等による最新技術の発信や体験機会の提供など、東京ならではの取組を行うことで、魅力的な大会になると思う。

◆世界陸上・デフリンピックを子供たちが観戦できるよう、方法などを検討・調整
◆ねんりんピックについては、大学や企業等の様々な団体と連携して取組を実施

主なご意見（要旨）とそれに対する都の考え方

東京2020大会のレガシーについて

- 東京2020大会のマスコット「ミライトワ」と「ソメイティ」を、大会の素晴らしいレガシーとして、今後も活用してほしい。
- 「TOKYOスポーツレガシービジョン」などがどのように継承・発展されていくのかが分かるような見せ方にする事で、本計画の位置づけが明確になると思う。

- ◆ 大会時に制作したマスコット像をレガシーとし、都立スポーツ施設等で引き続き展示
- ◆ イベントへの出演等、効果的な活用を検討
- ◆ レガシービジョンの内容を本計画でも継承し、関連性を示していく予定

スポーツ施設について

- 都立スポーツ施設において、環境に配慮した機器の導入や、ICT技術の活用を一層推進していくべき。
- 区市町村のスポーツ施設についても、ユニバーサルデザイン化を進めるため、幅広く施設修繕への助成制度があると有難い。

- ◆ 都立スポーツ施設において、設備の高効率化や再生可能エネルギー設備の導入などを推進
- ◆ ユニバーサルデザイン化の推進をはじめとした、区市町村の施設の改修整備に係る取組を支援

スポーツを支える担い手について

- 担い手の確保・育成や団体基盤の強化等を図るために、放課後はすべての活動をクラブ活動とし、教科指導と分けて考えるべき。
- 教員だけに頼るのではなく、有償の指導者やシニアボランティアが必要ではないか。

- ◆ 部活動の地域連携・地域移行について、まず休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ◆ 部活動を含む地域スポーツの振興について、今後、「地域のスポーツ振興に向けた関係者会議」を設置

その他のご意見

- ランニングイベントにデジタル技術を活用した取組はとても良いと思う。
- 世界陸上、デフリンピックについて、地域の子供たちによるエスコートキッズやメダルセレモニーへの参画などもよい取組だと思う。
- アスリートが世界を目指せるような選択肢を増やしたり、スポーツによる賑わいを示すことで、スポーツを通じて世界と繋がりを育むことが重要。
- 「パラスポーツ月間」や「TEAM BEYOND」の催しなどに参加することを楽しみに生活しており、体力向上にも役立っている。